

浄土と三悪道

新井俊一

『阿弥陀経』に次のような一節があります。

「舍利弗よ、これらの浄土の鳥は、過去の罪の結果として生まれてきた鳥と思ってはならない。その理由は、阿弥陀仏の浄土には地獄・餓鬼・畜生の三悪道がないからである。舍利弗よ、阿弥陀仏の国には三悪道の名前さえない。まして三悪道という実体があるはずがない。これらの様々な鳥は、みな阿弥陀仏が仏法を宣流しようと思っ



て鳥の姿を現出されたものである。」
この一節は浄土の本質について考えさせられます。まず最初に釈尊は、これら浄土の鳥は、衆生が過去の悪業の結果として鳥の姿をとることになったものではない、阿弥陀仏が仏法を宣流するために仮に現出された鳥だからである、とおっしゃいます。釈尊がわざわざこのようなことを言わなければ、浄土には美しい鳥が美しい声で啼いているんだな、と思う程度でしょう。しかしなぜ釈尊がこれを言うかということ、私たちは久遠劫の昔から、自分の業（行為）の結果として六道（地獄・餓鬼・畜生・阿修羅・人・天）を輪廻してきた、という思想を念頭に置いておられるからです。すなわち、今の鳥獣の姿を持つものはすべて過去世の行為の結果としてそのように生まれたのだ、という思想です。浄土の美しい鳥はそんなものではない、というのです。

上の『阿弥陀経』の一節にはまた、浄土には地獄・餓鬼・畜生という三悪道は、名前さえ存在しない、と言っています。ということは、一旦浄土に生まれたら、三悪道を決して見ることはない、三悪道は最初から存在しないのだから、ということです。これは三悪道が浄土の外のだこかにひっそりと存在する、というのではありません。地獄と対立して存在するような浄土は、本当の浄土ではないでしょう。浄土が全宇宙であれば、地獄の存在する余地がないからです。

阿弥陀仏にとっては一人一人の衆生は、たとえそれが地獄の住人であったとしても、もっともかわいい

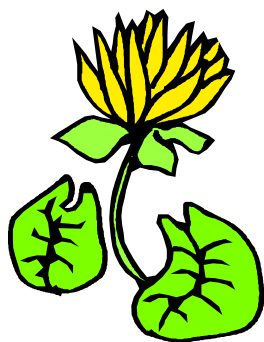
8月の予定

- 1日 10時 被爆者追悼法要
日本語法要 竹村先生
- 5日 1時半 日系マナー法要
- 8日 10時 家族法要
日本語プログラム
- 15日 10時 家族法要
日本語プログラム
- 19日 1時半 日系マナー法要
- 22日 10時 婦人会恵信尼公/
覚信尼様顕彰法要
日本語法要 竹村先生
- 24日 10時半 敬老ホーム法要
- 29日 10時 家族法要
日本語プログラム

一人子んのような存在でしょう。阿弥陀仏は善人も悪人も、老若男女をまったく差別しないからです。それではどうしてこの世の中に苦しみや悲しみが存在するかというと、仏の慈悲が目に入らずに自己中心的な欲望の追求にいのちを磨り減らし、物事が自分の思うようにならないと、怒り狂っている衆生が地獄・餓鬼・畜生の世界を自ら創り出しているからです。如来はそう言う私たちの姿を悲しみをもって見ておられます。

新井先生に許可を頂き転載させて頂きました。

先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士（ハワイ大学）、浄土真宗本願寺派教師。



39原則

沼田智秀著「ささえあって」百八つのおもい より

原則とは根本の法則ということです。釈尊は「いのち」の根本法則として、「縁起」を説いてくださいました。「縁起」について、「仏教聖典」には、**因縁生起の略である。あらゆる存在が互いに関係しあって生起することである。仏教の教えの基本となる思想である。あらゆる存在のもちつもたれつ**の関係を認めるから、「お蔭さまで」という感謝になり、報恩という奉仕も生まれてくる。

と解説されてあります。

また親鸞聖人は、『一念多念証文』で、

法則というは、はじめて行者のはからいにあらず、もとより不可思議の利益にあずかること、**自然のありさまと申すことをしらしむるを法則**とはいうなり、一念信心をうるひとの**ありさまの自然なることをあらわすを法則**とは申すなり。

と言われています。法則とは「自らのはからいを捨て、阿弥陀如来にあまかせすれば仏となる」ということだと言われたのです。

Oh What a Weekend!!!



今年の盆踊りも終わりました。もし参加されていたら、そのイメージもまだ鮮明でしょう。この素晴らしい催しを私たちの別院がシーフェアのコミュニティーの一員として主催できました。踊り、太鼓、フード、ミュージックと一緒に松林輪番が日曜日の結びで言われた「世界の盆踊り」を作りました。長年このイベントの委員長を務める浜川ロンには彼の献身とリーダーシップに対し成功を祝いたいと思います。多くのお盆委員会メンバーは冬の間から計画をし始めました。グエン フローレンスと盆踊りの先生たちにもこの週末のために準備をして下さった尽力に感謝します。別院理事会を代表し別院会員とその友人に盆踊りのご奉仕に感謝します。皆様のご支援で私たちの先亡者の方々を供養する有意義な催しとなりました。

合掌、 森ポール 別院理事会会長

オリオンハウス

今年の6月号で紹介したオリオンハウスの7月の食事作りはお盆と重なって人手が無く困難でしたが後藤アイリーン、ジュリー先生などの方々のお蔭で無事ラザーニャなどを届けられました。財政のヘルプもあり大変喜ばしいことでした。2009年11月よりダーマスクールなどの若いグループが順に率先していますが別院の個人及びグループにもっと奉仕して頂きたいと願っています。次は8月20日です。もしお手伝い出来る方・ご寄付出来る方はアイリーンまでお申し出下さい。

第78回盆踊り大成功！

もっとも深い念願の力を見つめたら、私たちはその人生を無益に過ごせない。人生は素晴らしい人柄で満ちた大洋の宝となる。親鸞聖人、大正新脩大蔵経（英語よりの翻訳：和田）

お盆計画委員会を代表し素晴らしいお盆が出来ましたことを感謝します。会員の皆様の数え切れない時間のご奉仕で、ピュージットサウンド地域の方々と浄土真宗の伝統を分かち合うことが出来ました。その活力がシアトルの素晴らしい要因に貢献します。多々のご支援とご奉仕に重ねて感謝します。

合掌、浜川 ロン 盆踊り委員長

別院会員盆踊りとポットラックご案内

初回の催しであるサンガ盆踊りとポットラックピクニックにご参加下さい。

誰： サンガメンバー

何時： 8月7日5時—9時

何処： 別院裏のパーキング

持ってくる物： ポットラックの一品と、ハッピーか浴衣で。

短い法要、グッドフード、仲間、踊り！

別院ダンスの先生がリードします。ハンバーガー、

ホットドッグ、かき氷のサービス。

3時よりセットアップ。終わってのクリーンアップもお願いします。



ABA より

カナダのステーブストーンにおける親鸞聖人 750 回大遠忌法要・コンベンションが9月24—26日に執り行われます。スピーカーは松本デービッド先生と海野マーク先生です。聖人の比叡山の経験に因み夜通しのメディテーションもおこなわれます。レジストレーションは大人 \$45、子供 \$20. Radisson Hotel Airport に泊まる予定です。皆でカープール出来ます。興味のある方は上西ゲールまで連絡してください。別院事務所 206-329-0800

メディテーション セッション

毎日曜日朝 8 時 45 分—9 時半まで前輪番ハウスにてメディテーションがおこなわれております。ぜひご参加下さい。

会員部より

今月も英語部に会費お支払いの方のお名前があります。この方々は 2010 年の維持会費をお支払いになった方々です。70 才以上は \$250 (\$500 ご夫妻)、70 才以下は \$300 (\$600 ご夫妻)です。これは別院の維持に対しての最低額になります。別院年会費は 9 月末が締め切りになり 10 月からは 2011 年度の会費となります。ありがとうございます。

9月の予定

11 日 日本語聞法セミナー・桑原浄信開教使

(本願寺、浄土真宗センター英語通信教育、国際伝道講座コーディネーター)

先生は当日到着の予定ですのでセミナーは午後 1 時より始まります。

12 日 秋のお彼岸法要—桑原先生 ダーマスクール初日

婦人会便り

会長のメッセージ

八幡静江

- ACRS の主催に依る ” Walk for Rice” に婦人会会員/ABA/別院会員 17名が参加されました。私達のチームは参加者の家族、友人、そして別院会員方からの寄付のお蔭で ACRS の Food Bank の為に \$ 1700 を徴集出来ました。2011年 も歩くことを念願しております。有難うございました。
- お盆：川原律子夫人の指導の下にバラ寿司と焼きそばの準備並びに販売のお手伝いに出て下さった会員の方々に感謝致します。
- ダーマスクール主催の KSP プログラムに参加した生徒たちを教える為ボランティアをして下さいました会員の方々に厚くお礼を申し上げます。有能な婦人会会員の方々は料理のクラスを教えられただけでなく、書道、墨絵、花道、そして饅頭とお豆腐の作り方等までも教えられました。



婦人会活動

6月22日火曜日、期待と楽しみで気分の浮き立った別院婦人会会員が配偶者を伴って一年一度の一日旅行、景色の素敵な Chuckanut Drive、に向かい2台のバスの乗客となりました。その日はお蔭様で好天候に恵まれた暖かい日でした。最初の立ち寄り場所は佐久間ブラザース・ファームで歩行案内と同時に会社のお茶の製造プロセスの簡単なお話などお聞きしました。会員方はお茶を試飲する事も出来、亦そのファームで栽培している苺も購入できました。次の場所はチャッカナット メーカーでのバフェーランチー団体が40名以上の為に特別なサンデーバフェーランチが可能になり、皆美味しいランチを楽しみました。第三、そして最後はテラー シェルフィッシ ファーム。其処では新鮮なオイスター、クラム、マツソル、そしてクラブ等を買ひ、持ち帰れるよう氷に詰めて下さいました。花田ペギー及び岡田マーリーン方のたゆまない努力のお蔭で皆様が素晴らしい時間を持ち、この一年一度の小旅行を楽しむ事が出来ました。

寄付感謝録

一般寄付は、英文寄付欄をご参照下さい。

8月行事予定

- 1日(日) 婦人会理事会ミーティング 一午前11時45分
- 22日(日) 恵信尼公/覚信尼様顕彰法要
- 29日(日) 婦人会キャビネットミーティングラウンジにて

通信書記(日) 新保悦提出

日本語版のイーメール・アドレス Newsletter-jpn@seattlebetsuin.com
シアトル別院時報日本語面翻訳・編集 和田真知子

